

科目名	慢性期看護方法論 (Chronic Care Nursing Methods)			科目コード	213
開講学科	看護学科	選択区分	必修	単位数(時間)	2単位(60時間)
科目区分	専門科目	履修時期	3年次前期	関連DP	看①②③④
担当教員	江崎 ひろみ、高橋 博子、島田 美鈴				
授業概要	慢性疾患の特徴や疾患を抱えて生きる人への看護における知識・技術を教授する。 慢性疾患の各事例をとおして、看護に必要な知識・技術をTBL等のアクティブラーニングを活用して教授する。				
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> 慢性疾患の特性および慢性疾患を抱えて生きる成人の特徴を理解することができる。 代表的な慢性疾患を抱えて生きる成人の事例を通して、病気の悪化予防、セルフケア、仕事・家庭生活との両立をめざす看護方法を学ぶ。 				

授業計画

回	項目	内容	担当者
1～2	授業ガイダンス グループ分け 慢性疾患とは	講義の進め方：TBL 学習による授業展開の説明 グループ編成のためのミニテスト 慢性疾患の概念・特徴	江崎ひろみ 島田美鈴
3	慢性疾患を抱えて生きる成人の理解と援助方法	慢性疾患の治療の特徴 疾病のコントロールを必要とする人の特徴 QOL を高める援助、疾病受容への援助	島田美鈴
4～8	循環器障害をもつ人への看護	心不全患者の事例学習 病態生理、経過、患者が体験する問題と看護方法	担当者全員
9	急性増悪期の看護	慢性疾患を有する人への急性増悪期の看護援助 悪化予防、症状マネジメントへの看護援助	担当者全員
10	がん患者の看護	がん医療・看護に関する動向、化学療法、放射線療法、手術療法を受ける人の体験・看護（教育協力者）	江崎ひろみ 島田美鈴
11～15	血液腫瘍患者への看護	白血病患者の事例学習 病態生理、経過、患者が体験する問題と看護方法	担当者全員
16	化学療法時の看護	薬物療法を受ける人の看護援助、化学療法を受ける人の看護援助	担当者全員
17	看護技術演習	(演習) 酸素吸入、簡易インスリン注射、自己血糖測定	担当者全員
18～22	呼吸機能障害をもつ人への看護	COPD 患者の事例学習 病態生理、経過、患者が体験する問題と看護方法	担当者全員
23	生活調整への看護	慢性疾患にて生活調整が必要な人への看護援助：セルフマネジメントへの看護援助	担当者全員
24～28	機能障害をもつ人への看護	頭頸部がん患者の事例学習 病態生理、経過、患者が体験する問題と看護方法	担当者全員
29	放射線療法時の看護	放射線療法を受ける人の看護援助、疾病受容・ボディイメージの変化への看護援助、	担当者全員
30	まとめ	事例学習の授業を振り返り、自分たちが考える慢性期看護についてグループ討議・発表・ディスカッションする	担当者全員
成績評価方法	筆記試験(ミニテスト含む)50%、演習(グループ討議含む)とレポート等 50%の割合で評価する。		
教科書	鈴木志津枝・藤田佐和「慢性期看護論」第3版(ヌーヴェルヒロカワ) 中西純子・石川ふみよ「リハビリテーション看護論」第2版(ヌーヴェルヒロカワ)		
参考図書等	病気が見えるシリーズ		
授業時間外の学習について	事例学習では人体の構造・機能および臨床病態学での学習内容の予習・復習が必要である。		
関連科目	141 人体の構造・機能Ⅰ、142 人体の構造・機能Ⅱ、143 人体の構造・機能Ⅲ、145 生命活動と代謝、151 疾病発生の機序、153 臨床病態学Ⅰ、154 臨床病態学Ⅱ、155 臨床病態学Ⅲ、156 臨床病態学Ⅳ、158 薬と健康、159 食と栄養、160 リハビリテーション医療、161 放射線医学、203 基礎看護方法論Ⅰ、204 基礎看護方法論Ⅱ、205 基礎看護方法論Ⅲ、206 フィジカルアセスメント、207 看護過程、208 基礎看護実習Ⅰ、209 基礎看護実習Ⅱ、210 成人看護対象論、211 健康教育論		
備考	実 江崎、高橋、島田：看護師(医療機関) 病態生理については、池松裕子ほか「急性期看護論」も参照のこと 項目の順序の変更の可能性あり		